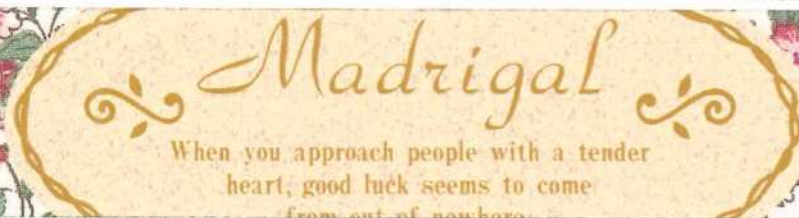


花いっぱい環境づくり

恵庭市花いっぱいコンクール最優秀賞受賞

第20回



北海道花いっぱいコンクール最優秀賞受賞

第29回

全国花いっぱいコンクール運輸大臣賞受賞

創造と豊かな人間性を高める花いっぱい運動

北海道

恵庭市立恵み野中学校

「 学 校 の部」推薦書

推薦機関名 社団法人 北海道コミュニティ運動協会

被推薦団体(個人)名、責任者、所在地、電話(個人の場合は年令、職業も)

団体名 恵庭市立恵み野中学校 責任者 校長 牧野 静也

所在地 恵庭市恵み野東1丁目1-2 電話 0123-37-0331

推薦理由(なるべく詳しく)

恵庭市立恵み野中学校は、市都市計画で住宅・文教地区として開発された恵み野団地に、平成元年4月1日12学級で開校し、「豊かな心をもち 自らやりぬく 生徒の育成」をめざして教育実践が進められており、生徒と教師のみならず、家庭や地域の人々の協力提携の中で教育環境の整備がすすめられてきた。

開校準備のさなか、多数の父母、地域の人々が参加して、生徒・教師共々に校庭整備、前庭の花壇設営や植樹作業がなされた。地域有志より開校記念として、樹齢千年という「いちい」の樹木が寄贈され、前庭に偉容を呈している。

花壇は、『1、生徒たちが 自らの手で育てるという心のはたらきや、作業を通じて自然愛護の心を培い、進んで環境整美に参加する態度を養う。2、作業を通じて勤労の尊さを体得させ、奉仕の精神を養う。3、生徒全員が参画することにより伝統をつくりあげようとする意識を高める。』との目標のもと、生徒会整美委員会の指導により、全学級生徒の手により維持管理がなされており、苗の定植、維持管理方法を学級で工夫したり、用具の準備も生徒の手でなされている等も、この学校の特色とすることができる。盛花期後の摘み取り作業や夏休み中の管理なども生徒の自主的な行動によりすすめられて花壇の美観を保っている。このような生徒たちの努力は、開校初年・平成元年度の「国体記念花壇コンクール」での協力賞、「恵庭市花いっぱいコンクール」最優秀賞、「北海道花いっぱいコンクール」優良賞受賞。に始まり、平成2年度は奨励賞。平成3年度には「恵み野フラワーコンテスト」特別賞、「北海道花いっぱいコンクール」優秀賞受賞。そして本年度には、北海道での最優秀賞受賞として結実したものである。

同校の実践は、生徒指導上にも波及し生徒会活動や部活動の自主的運営などの成果をみている。また、恵み野地域住民の環境美化の意識を涵養して家庭花壇や窓べの花が普及するなど地域への貢献も大で、「恵庭市花いっぱい文化協会」の活動にも影響をもたらしている。

第29回 全国花いっぱいコンクール参加申込書



団体名 <u>東海市立 東み野中学校</u> 代表者職名・氏名 <u>牧野 静也</u> 印 所在地 〒 <u>東海市 東み野東1丁目1-2</u> 電話 (0123) <u>37-0331</u>	
何人くらいのグループでやっているか？役割分担は？	グループの人数 <u>639</u> 人。 中学校は放課後の部活動があり、また高校進学の問題等、環境美化活動には取り組むにたい面もあるが、全校生徒17学級639名と教職員31名の全校ぐるみで取り組んでいる。生徒会の環境委員会と管理係の教職員が中心に企画・推進している。
どのような目的で、また、どのような方法で花いっぱい運動に取り組んでいるか？	平成元年開校以来「人間は環境によつて育つ」の信念のもと、花と緑に囲まれた美しい環境づくりによって、思いやりの心あふれた生徒の育成をめざしている。生徒会の委員会、学級単位に花壇を割り当て、全校一斉作業・係の当番制作業等、綿密に計画し、体制をつくらせ、育菌・除草・水やり・病虫害の予防等に取り組んでいる。
管理上問題があるか？どのように解決しているか？	夏休み中の花壇管理が、一番問題である。水のやり過ぎ、枯れ花とり、台風後の花むしれによる病気の予防等が心配なので、夏休み前に管理方法について再度学習の機会をもち、各学級・委員会の中でぬれぬれ当番をきめて、毎日花の世話をした。教職員も毎朝花壇を見まわり、玄關前の合同ホールの水やりの必要が否か、枯れ花の取り除き等を助言した。
グループ外との交流はどんなになっているか？	石狩教育研究会の環境部会で、花壇づくりと環境保全の勤務体験を通して、よりよい校風創造の成果を発表し、管内小・中学校と交流している。石狩管内内外の学校からも教職員が見学を訪れ、市内観光の一部となっている。
花いっぱい運動でどのような成果を上げているか？	美しいものを育むこと、他を思いやる気持ちが育ち、校内外の美化にもより、地域社会を浄化しようという気運が高まり、看護老人ホームへの奉仕活動・駅等公共施設の清掃奉仕活動等、社会奉仕の諸活動に発展している。
費用はどうしているか？いくらぐらいかかっているか？	総費用 34万円 (PTA環境整備特別会計費) 支出内訳 〇種苗費 29.5万円 〇花壇造営費 1.5万円 〇葉肥費 1万円 〇肥料費 2万円 (花壇面積 950.15㎡)
その他グループの特徴や参考となる事項	新興住宅団地の生徒たちは「エいじり」とは無縁の生活を送っているが、花壇づくりを通して、勤労の尊厳や根気強さの大切さを身をもって感じ、美しいものへの感動の気持ちが育っている。また、特徴ある花壇づくりをしようという創造への意欲が高まっている。地域の人々からは、熱心に花づくりに取り組む生徒の姿や、あいつがきちんできてる生徒の態度ゆえに、賛辞が寄せられている。昨年より東み野団地のフラワーコンテストが行われ、団体の部で特別賞を連続受賞し、表彰されている。降霜前には、春から丹精込めて手入れをしてきた花を鉢植えにして、駅や警察官派出所等地域の公共施設に寄贈したり、生徒の家庭や地域の人の希望者への花の持ち帰りをすすめ、冬期間も花のある生活を継続出来るようすすめている。美しい花壇を見に地域の人々が訪れ、憩いの場になっている。

- 注 ① カラー写真10枚程度、その他参考となる資料を添付してください。
 ② 欄内に記入しきれない場合は別用紙に記入してください。
 ③ 写真や資料は返却できません。

創造と豊かな

人間性を高める

花いっぱい運動





恵庭市立恵み野中学校校舎全景

恵み野中学校校歌

一 大いなる 大地のかおり
 清新な 街の 輝き
 わが学友よ 手を取りあつて
 麗しい 友情の花
 この学園に 咲かせていこう

二 見渡せば 遠い山影
 なつかしき 心にしみる
 学友よいま 力あわせて
 すこやかに 身体を鍛え
 あたらしい 道を開こう

三 果てしない 夢の広がり
 羽ばたいて 世界を結ぶ
 平和への 英知の光
 曇りなく 照らす 窓辺に
 喜びの 沸き上がる歌
 恵み野に あふれくる歌



校章の意味

1. 大きく翼を広げた鳥は、未来にはばたく若人の力
2. 平和を表すオリーブは、緑に囲まれた学園と生徒と教師の信頼の輪
3. MIは恵庭岳と恵み野の象徴

恵み野中学校の教育目標

1 意欲をもって 自ら学ぶ

＜設定の理由と視点＞

知識偏重の見直しや情報の多様化の中で、21世紀に向けて生き抜くための生涯学習が問われている社会背景がある。基礎的・基本的な教育内容の指導によって、豊かな知性を主に、真理の追求や論理的な思考力・自ら学んでいく姿勢を育てる。

2 正しく判断し 協力して活動する

社会の成熟化や生活の多様化の中で自我の確立が薄れ、孤立化し、他を顧みない無責任な風潮がある。連帯性を高め、培う指導を強化することによって、社会生活の中での公正・科学的な判断力や他との関わりでの責任感を育てるとともに個性や個人の資質の伸長を図る。

3 広い視野と豊かな心を持つ

価値観の多様化・国際化社会の中で、豊かな情操や国際的な広い視野が要請されている。自然に親しませ、好ましい人間関係の確立を図ることによって、豊かな人間性や芸術・文化的創造力、世界的なものの見方・感じ方をも培う。

4 生命を尊び 健やかでたくましく生きる

物質的な繁栄や利便さに溢れ、心身共に脆弱に陥りやすい社会環境がある。健康で自他共に鍛え合う教育実践・活動を進めることによって、困難にも耐えうる強い気力・体力や課題への自己解決力を会得させる。



学校長 牧野 静也



恵み野の町



- ① JR千歳線「恵み野」駅
- ② イトーヨーカドー恵庭店
- ③ 恵み野病院
- ④ セントラルスポーツ
- ⑤ 駅前商業・誘致施設
- ⑥ 駅前商業施設・ショッピングモール
- ⑦ 商業・利便施設地区
- ⑧ タウンセンター地区
- ⑨ 恵庭RBパークセンタービル
- ⑩ 情報センタービル
- ⑪ 恵庭RBパーク関連施設
- ⑫ アメニティ施設
- ⑬ 恵み野会館(市役所出張所)
- ⑭ 北海道ハイテクノロジー専門学校
- ⑮ 市公共施設
- ⑯ 公営住宅
- ⑰ 学園前商店街地区
- ⑱ 分散店舗
- ⑲ コミュニティ広場(恵み野中央公園内)
- ⑳ 日本庭園(恵み野中央公園内)
- ㉑ 野外音楽堂(恵み野中央公園内)
- ㉒ 野球場(恵み野中央公園内)
- ㉓ 冒険広場(恵み野中央公園内)
- ㉔ テニスコート(恵み野中央公園内)
- ㉕ 児童公園(7ヵ所)
- ㉖ 開拓記念公園
- ㉗ 郷土資料館
- ㉘ 保育所(2ヵ所)
- ㉙ 恵み野幼稚園
- ㉚ 恵み野第2幼稚園
- ㉛ 恵み野小学校
- ㉜ 恵み野中学校
- ㉝ 早稲田電子学園所有地
- ㉞ 近畿大学所有地
- ㉟ 近畿大学セミナーハウス
- ㊱ 漁川
- ㊲ 国道36号線バイパス
- ㊳ 北海道栄養短期大学
- ㊴ 恵庭市総合体育館

学校環境緑化実施状況調査

1、学校の名称および所在地

- ・恵庭市立恵み野中学校
- ・北海道恵庭市恵み野東1丁目1-2
- ・☎0123-37-0331

2、学校長氏名

- ・牧 野 静 也

3、学校の現状

(1) 生徒数

	男 子	女 子	合 計
1 年 生	109	113	222
2 年 生	104	94	198
3 年 生	97	124	221
合 計	310	331	641

(2) 学級数

	1 年	2 年	3 年
学 級 数	6	5	6

(3) 教職員数

	男 子	女 子	公務補	合 計
教 職 員 数	23	8	2	33



恵み野中前庭花壇

一、学校の概要

(1) 創 立

昭和62年7月27日 市議会で恵み野地区中学校建設を議決。
 昭和62年12月10日 校名を恵み野中学校として設置、決定した。
 平成元年4月1日 恵庭市立柏陽中学校から分離、藤川正吾初代校長他24名の教職員が発令され12学級（生徒数456名）で開校した。

(2) 沿革のあらまし

平成元年4月1日 藤川正吾校長他24名の教職員全員が出勤し、新しい学校づくりの出発点とした。12学級でスタート。
 4月6日 着任式、始業式、入学式を多目的室で挙行。
 4月22日 開校式、開校祝賀会を市民会館で挙行。
 4月28日 校庭整備に多数の父母が参加し教職員と共に前庭の植樹作業が行なわれた。
 5月6日 PTA設立総会が開催され、役員の決定と規約の制定によりPTA活動が開始された。
 5月31日 校章を制定。（原画製作者 3年原田直樹）
 6月3日 開校を記念して樹令千年のいちいが寄贈され校舎前庭に植樹。
 7月30日 はまなす国体開催記念花壇コンクールで協力賞を受賞。
 9月7日 体育館建設工事着工。
 10月7・8日 第1回恵み野中文化祭を恵み野小学校体育館で開催。市より校旗が寄贈され伝達式を行なう。
 10月17日 全道花いっぱいコンクールに応募し、優良賞を受賞。
 平成2年2月11日 恵庭市花いっぱいコンクールで最優秀賞を受賞し、表彰を受ける。
 2月16日 本校教育目標を制定。
 2月17日 恵み野中学校校歌完成。
 3月12日 第1回卒業証書授与式を市民会館大ホールで挙行。卒業生 男子78名、女子81名、計159名。
 3月31日 体育館完成。
 4月6日 古川、吉岡教諭の2名着任。14学級編成。
 7月7日 PTAが主催して坪谷京子氏を迎え講演会を開催。
 9月4日 札幌放送合唱団による音楽鑑賞教室を実施。
 11月15日 石狩管内視聴覚研究大会を開催。（研究授業の公開と分科会）
 12月11日 開校記念日に設定。
 平成3年1月26日 第2回雪中運動会にPTAによる豚汁サービスがあり、生徒達にも大好評。
 2月5日 全国中学スケート大会に吉田大介君が出場し、3,000Mに3位入賞を果たす。
 3月25日 校舎増築工事完成。（普通教室6、音楽室、美術室、図書室、放送室、視聴覚室、会議室、職業室、教材室、その他準備室等）
 3月25日 五藤教頭、野澤、藤村教諭、八重樫業務補の4名離任。
 4月6日 宮川教頭、佐藤(英)、竹内、川岸、伊藤(弘)、中村教諭、前田業務補の7名着任。
 7月23日 姉妹市町和木町教育委員団来校。
 7月24日 野球グラウンドバックネット等施設完成。
 8月10日 第1回恵み野フラワーコンテスト特別賞受賞。
 11月3日 全道花いっぱいコンクールに応募し、優秀賞を受賞。
 11月17日 全道英語暗誦発表大会に田坂亜矢子(3年)管内代表として出場。
 平成4年2月11日 恵庭市花いっぱいコンクールで最優秀賞を受賞し表彰を受ける。
 3月24日 藤川校長、浄土、関口、中尾、出村教諭の5名離任。
 4月6日 牧野校長、谷口、本田、板木、先崎、古崎、小浜、今井教諭の8名着任。





恵み野中屋上より恵庭岳を望む



4、地域の実態

恵庭市は札幌市の南東30キロ程の距離に位置し、人口58,978人の都市である。

「恵み野」は産業やハイテク工業等の著しい発展をみせ、都市活力度と人口増加率の道内一を誇る恵庭市の中核に位置している。千歳空港へは15キロ、交通の要衝に、従来の大規模団地とは全く違う、札幌市の都市機能をも分担する衛生都市をめざして、利便性の高い生活と美しい自然との調和を図った21世紀に向けた街づくりが進められた。

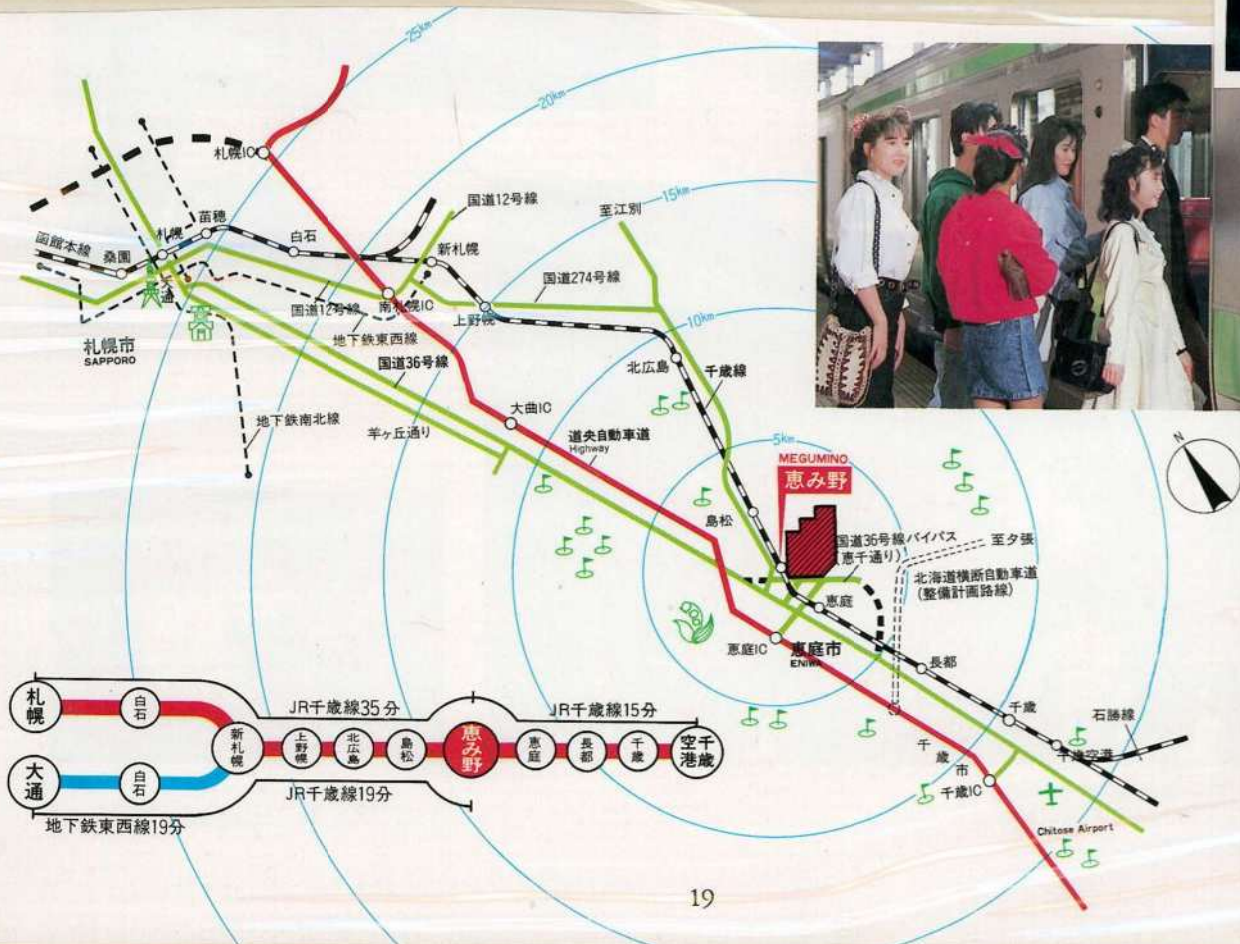
本校はJR千歳線、恵み野駅寄り1、6キロ程の団地中央に位置し野球場・野外音楽堂などの中央公園に面し、北海道の先端産業を支える恵庭ハイコンプレックスシティー構想の中核「恵庭RBパーク」「ハイテクノロジー専門学校」スーパーコンピューターを備える「北海道情報センタービル」に隣接する。



シンボルマークの案



- 全体の形は、本市の象徴となる恵庭岳を意味し、中央部には、漁川などの流れを表現している。
- 樹木は市の木「イチイ」であり、冬も若々しい緑色を呈する常緑針葉樹である。



はじめに

本校は平成元年4月に柏陽中学校より分離し、12学級の学校として発足した。開校時の本校の周囲は芝生のタネをまいただけで、その周辺には樹木や花壇もなくただ学校だけが真新しいという感じであった。「環境は人をつくる」という考えから、開校と同時に着手したのが、環境教育と勤労体験学習としての学校環境整備である。また、自分達の学校は自分の手で創り上げることが、母校愛の心情を培い、学校への帰属意識を高め、よりよい伝統の創造につながると考えたからである。

1) 環境教育の重視と学校環境の整備・保管

最近の一般家庭の傾向として、子供に家事労働をさせる家は少なくなり、生産よりは、ぜいたくなレジャー志向の風潮が強まっている。また高度工業化社会の形成と乱開発の進行は、環境の汚染と破壊が進行し、奇病、公害病が発生したり、土砂の流出や、増水に弱い自然環境が形成され、人命が危うくされている。

これらの課題に対しては、国、地方公共団体や民間企業にあっても、抜本的な対策を講じなければならない。本校としても全分野を通じ、環境教育を重視し、環境保全と労働教育の重要性を認識し、実践していかなければならない。

A、環境教育の推進

イ、理科、社会、保健、技術などの教科、道徳指導、学級指導、学級会活動を通して環境保全の重要性を理解させ、学校環境整備の意識を高める。(管理)

B、関係機関、教師、生徒、父母による学校環境の整備・保全の推進

イ、市教委、市役所の緑化係、及び、環境保全の機関に働きかけ、グラウンド等の整備、校地の緑化を積極的に進める。

ロ、教師、生徒、父母による学校花壇、校庭の緑化、植樹などの全体計画を立て、積極的に学校環境を整備する。

2) 進んで根気強く働く生徒の育成(管理・学年代表・学担・生徒会)

A、学級、生徒会、学校行事などの活動のなかで、仕事のねらい、内容、スケジュールなどを明らかにし、進んで協力して最後までやり抜き、責任をはたす指導体制の確立。

イ、環境を整備し、協力して働く生徒の育成

・学年代表会で、環境・労働教育の全体計画を作成し、計画的に実践するようにする。

特に、次のことは、不可欠事項として取り扱う。

・全校活動、係活動、分担当番活動のあり方も明らかにし、全生徒が責任を果せるように計画する。(管理・保健・学担)

・特に、掃除当番の実施にあたっては、仕方なしにやるというのではなく自分達が使った所は、後片づけをするのは当然であるとの視点に立ち、積極的に行なうこと。教師も生徒と一緒に実施する。従って、掃除を罰の手段として取り扱わない。(保健学担)

・外の掃除については、分担を明らかにし、月2回は実施するようにする。

・作業や掃除を行なう場合は開始前には、ねらい、仕事の内容、手段などを指導し、終了時には反省や評価を必ず実施する。

ロ、労働体験、作業学習など活動場面を多く設定し、根気強くやり抜く態度の育成

・教科、クラブ、学校行事、課外活動の中に、労働体験、作業学習をできるだけ多く導入し、成就感を味わえるよう、最後まで根気強くやり抜く指導を強化する。



北海道花いっぱい優良賞



北海道花いっぱい優秀賞



北海道花いっぱい最優秀賞

学校教育目標	
○ 生命を尊び健やかでたくましく生きる。	◎ 新しい伝統の創造と豊かな人間性を高める学校経営の推進
○ 広い視野と豊かな心をもつ。	◎ 意欲をもって自ら学ぶ。
○ 正しく判断し協力して活動する。	

学校課題にせまる行動の目標			
学校課題	生活力を高める生徒の育成	緑化・環境保全の目標	生徒指導の重点対象
		緑化・環境保全の大切さを知る。	◎ 学業指導
		楽しく喜び、勤労の重要性、自然を愛する心情を育める。	◎ 道徳性・社会性の指導
		・植樹作業をやり抜く。 ・花壇をつくり上げ、コンクールに優勝を目指す。	◎ 問題生徒の指導
		・すばらしい学校環境をつくる。 ・良い苗を育てる。 ・模範的な委員会花壇を作る。	◎ 学級経営
特別活動	生徒別活動	・環境の美化に努める。	◎ 環境教育
		・自己啓発を高め将来に対する人生設計の見直しを立てる。 ・学業生活の大切さを理解し学習計画の立て方を身につける。 ・集団の大切さを理解し多くの者とともに合えるようになる。健康・安全の大切さを自覚し、人命尊重の道義を身につける。	
		・朝の自習を自分の力でやりぬく。 ・授業道具を忘れない。 ・授業中私語をしない。 ・週間の学習計画を立て、家庭学習を充実する。	
		・静かに資料を読んだり読話を聞き、映画等を観賞して人間のあり方を考える。 ・人間のあり方や行動のし方について、各班の話し合いを深め、感想を発表したり、あるべき人間像やどのように行動すべきかなどノートする。	
活動	学校行事	・各種コンクールについて自分の責任をはたす。 ・事務局会議・委員会には必ず出席し、委員会や学校の意見を反映するとともに、会議の決定は学校に正しく伝達する。	
		・クラブ活動を欠席しないで仲よく最後までやる。 ・協力して部活動を行ない、よい成績をおさめる。 ・終始のミーティングをきちんとし教師への礼を尽くす。	
活動	学級活動	・自分の役割を自覚し責任をはたす。 ・早く整理し私語をしないで、行事に参加する。	
		・学級花壇の造形、花の植え方、管理のし方を身につける。 ・植樹のし方、育て方を身につける。	



平成4年

花壇の年間計画実施要領

1、重点目標

- (1) 学級花壇の維持管理は、整美委員会の全般的指導のもとに学級単位で実施する。
(2) 具体的作業は、学級の整美委員を中心に組織をつくり、計画的に実施する。

2、推進目標

- (1) 生徒達が、自分達の手で花を育てるといふ心の働きや、作業を通して、自然に親しむ心や生物愛護の心を育て、進んで環境美化をしようとする態度を培っていく。
(2) 学級花壇作業を通し、生徒一人一人が学校環境整美に参画し、新しい伝統を創造する意識を高める。
(3) 花壇作業を行うことを通して、勤労の意義や尊さを体得させ、奉仕の精神を育成する。

3、具体的実践計画

(1) 実施要領

ア、日程：6月10日(水)各学年午後から(雨の場合は11日)

イ、苗は管理係の方で各学級に配分して行わせる。

(2) 花の植え方の順序

ア、花を植える計画表に従って植える。

イ、生徒の服装はジャージ、軍手、長靴を用意する。

ウ、各学級でスコップ3丁用意してほしい。

オ、学級分担された場所をスコップで耕し、土を平らにする。

カ、肥料は1㎡当たりスコップ4～5杯分の腐葉土とコップ1杯分の化成肥

料をばらまき、深さ20cm～30cmによく耕す。

キ、苗を植えた後、水をかける。

ク、後始末をきちんとする。

(3) 花壇の日常の管理

ア、花壇を維持管理するための組織を学級で考える。

(4) その他

ア、用具の不足については、生徒が自宅から持ってこさせる。

イ、学級に花を飾る運動を進める。

ウ、リヤカー、一輪車は学校にあるのでそれぞれ使用する。

(5) 花壇の年間計画

月	仕 事 内 容
5 月	・花壇の設計(ジョウロとショベルの配分)
6 月	・苗植え、間引き、施肥(市の文化村より) ・水まき=雨天外毎日(整美係が行なう)放課後
7 月	・除草=昼休み又は放課後 ・病虫害の予防と駆除 ・除草、水まき
8 月	・夏休みの管理 ・除草、水まき
9 月	・秋の苗を花壇に補植 ・種子とり ・除草、水まき
10月	・花壇の整地と苗の取り除き作業 ・ジョウロとショベルをもどす ・花を鉢にうつす



花壇作業について

☞朝の水やり：7：30～8：00

☞夕方の水やり：16：30～17：00

*赤札があがっているときは、水やりをしない。
白札があがっているときは、水やりをする。

※水のやり方

- *ジョウロで水をかける。（花壇の中に入らないでなるべく水をまく。）
- *ショベルで土を柔らかくする。
- *雑草をとる。～きちんと所定の場所に捨てる。
- *周りの草も取る。
- *花の終わったものの摘み取り。（特にマリーゴールド、アゲラタム）
- *あとかたづけをする。（ショベル、ジョウロ）
- *教室で輪番を決めて行う。（整美班を動かしてください。）
- *ビニールハウスの花はかってにもっていかない。
（田中先生に連絡してから持って行く。）整美委員を通じて言う。
- *花が折れていたりした時は、すぐ連絡する。
- *花が病気や虫害になっているときは、すぐ知らせる。
- *自分達の学級でかってに肥料をまかない。（指示するまでまかない。）

☞花の審査

- *審査期日：7月18日（土）、9月26日（土）
- *審査員：先生と整美委員（自分の該当学年は審査しない。）
- *先生方の審査員（池田、田中、水野、今井、竹内、校長、解田）
- *欠席した時はその代用は認めないのでいる人数で行う。
- *先生方の採点は2倍で計算されます。

☞花の審査基準

- ①毎日の手入れと除草がきちんとなされているか。
- ②花壇の周りの石、草、ゴミ等をきちんと取っているか。
- ③花は折れていたり、枯れていたりしていないか。
- ④花は生き生きしているか。（花壇の中の土を柔らかくして根を出しやすくしているか。）
- ⑤教師と生徒が一丸となってやっているか。
- ⑥水まきと普段の手入れはどうか。（解田さんが採点します。）

☞整美委員花壇とビニールハウス、バラ花壇の水やりと雑草取りの割当て

- 月＝1組、火＝2組、水＝3組、木＝4組、金＝5組、土＝6組
- *1年はバラ花壇、2年はビニールハウス、3年は整美委員花壇
 - *ビニールハウスの気温が朝15度を超えたら横のビニールをあける。
帰りは閉じて下校する。
 - *欠席したり用事がある時は整美係を出す。



花の集団美をねらった模様花壇

2年生花壇



1年生花壇

3年生花壇



整美委員による水まき分担

	整美委員花壇	ビニールハウス	バラの花壇	割当て学級
日				委員長or副委員
月				1組
火				2組
水				3組
木				4組
金				5組
土				6組
日				委員長or副委員
月				1組
火				2組
水				3組
木				4組
金				5組
土				6組
日				委員長or副委員
月				1組
火				2組
水				3組
木				4組
金				5組
土				6組
日				委員長or副委員

*朝、夕の水まきは、曜日で学級ごとに割当てました。終わったら欄に名前を書いて下さい。

*朝は7:30~8:00までに水をまくだけでよい。

*夕は16:30~17:30迄に水やりと雑草とりをする。

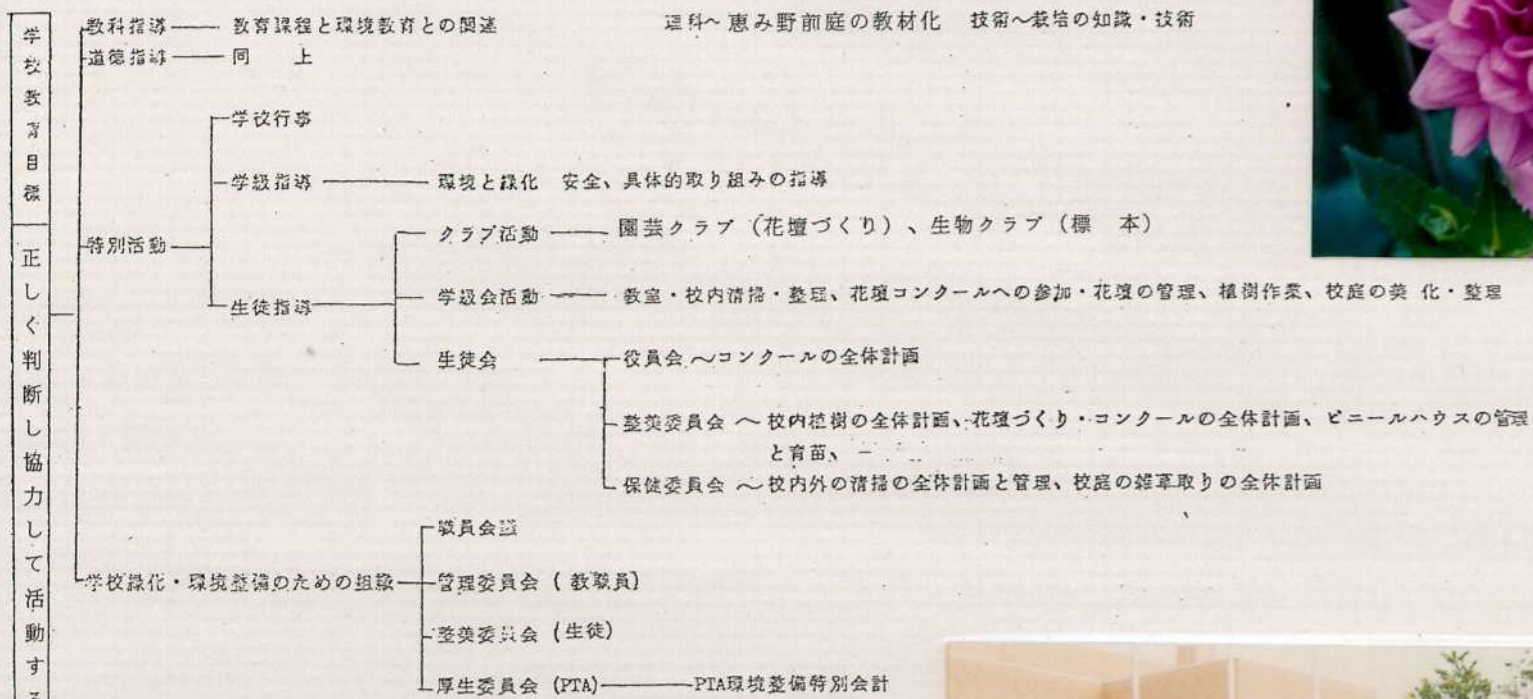
*割当て学年は、1年バラ花壇、2年ビニールハウス、3年整美委員花壇とする。

*ビニールハウスの温度が15度になったら横のビニールをあげる。(朝) 帰りは、下げて帰る。



教育活動と学校緑化

(1) 教育活動と学校緑化の全体構造



花壇作り精出す



花壇づくり



🌞 整美委員による円形花壇作り 🌞



🌱 花壇基礎作り 🌱



👤 土運び 👤



🌸 花の苗を種類別に分ける 🌸

苗移植



全校一斉花壇作り



＊恵み野の伝統作りに一生懸命＊

●情操教育の立場から

- ・自然に対する関心を高め、豊かな人間性を養うことができる。
- ・美しいものに対する感受性が育成される。
- ・生物を愛する心が養われ、花をたいせつにするようになる。

☺花壇作りに汗だく☺

🌻一本一本に愛情を込めて🌻

学級花壇植込み作業

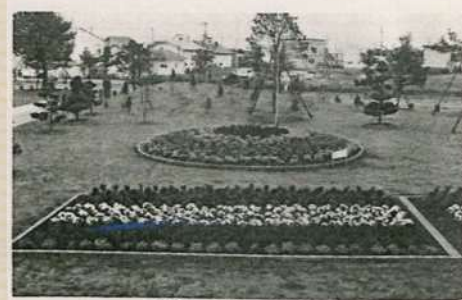


先生の指導で苗植え

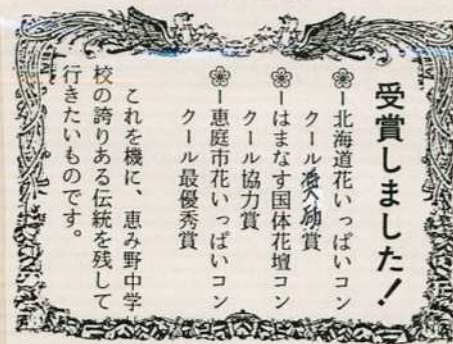


みんな一生懸命です

平成元年度全道奨励賞に輝く



花いっぱいの前庭



実践活動の面から

- 花つくりを経験することによって自然への親しみを感じ、理解を深める。
- 作業によって勤労の精神が培われ、共同作業の重要性を知るようになる。
- 花の栽培に従事することによって自主性が養われ、責任感を持つようになる。
- 学校環境づくりへ直接参加することによって社会性が育成され、公共のものをたいせつにするようになる。



